



JASPO2025 市民公開講座



患者・市民参画ワーキンググループ



市民公開講座開催概要

第 14 回日本臨床腫瘍薬学会学術大会（JASPO2025）では、市民公開講座「がんをのりこえて、一人ひとりの未来へ」を開催いたしました。薬剤師やがん経験者が、がん医療や薬剤師の役割についてわかりやすくお話しするとともに、特別ゲストのパフォーマンスもございました。

以下に概要を示させていただきます。

当日のチラシ ダウンロードはこちら（PDF ファイルのリンクを張る）

日 時：2025 年 3 月 15 日（土）13:30～15:30（開場 13:00～）

開催形式：現地開催

会 場：パシフィコ横浜ノース G4

参 加 費：無料（どなたでも参加可能）

定 員：500 名

主 催：第 14 回日本臨床腫瘍薬学会 学術大会

後 援：特定非営利活動法人ワンステップ、日本肺がん患者連絡会、特定非営利活動法人日本肺癌学会

当日は、キャスターの膳場貴子さんの司会で、和やかな雰囲気の中で講演や鼎談が進みました。JASPO 監事（前理事長）の加藤裕芳先生のご挨拶で幕を開け、近藤直樹理事長・大会長から JASPO における患者・市民参画の取り組みについて基調講演をいただき、3 人の薬剤師の先生方からそれぞれ病院、薬局、アカデミアという異なるお立場からのご講演、長谷川一男様からがん体験者からのご発言、その後、乳がん体験者である歌手の麻倉未稀様も加わって、膳場さんの進行でがん医療や薬剤師の役割についての質疑応答やディスカッションが行われました。最後に、麻倉未稀さんによるパフォーマンスセッションで会場が一体となり盛況のうちに幕を閉じました。ご参加いただいた、がん患者さん、市民のみなさまに心より感謝申し上げます。

ご参加いただいたみなさまには、当日アンケートにご協力いただきました。以下に、結果の概要を示させていただきますが、JASPO の今後の患者・市民参画活動に向けての貴重なご意見をいただきましたので、ご回答いただいたみなさまに心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。



★ アンケートについて

以下の内容で、市民公開講座終了時に紙媒体および電子媒体により参加者に入力を依頼いたしました。

ご来場者様アンケート			
ご来場いただき、誠にありがとうございます。			
日本臨床腫瘍薬学会は、がん医療の発展と公衆衛生の向上に寄与することを目的に、 薬剤師をはじめとする様々な人々が連携し活動しています。			
本調査は、薬剤師の認知度や役割への期待について皆さまのご意見を伺うものです。 数分お時間をいただき、アンケートへのご協力をお願い申し上げます。			
ご性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性 <input type="checkbox"/> 無回答		
年齢層	<input type="checkbox"/> 10代以下 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代以上		
がんとの 関わり	<input type="checkbox"/> 自分ががん患者 <input type="checkbox"/> 家族・親族ががん患者 <input type="checkbox"/> 自分も家族・親族もがん患者ではない <input type="checkbox"/> その他（ ）		
がんを専門とする薬剤師（外来がん治療認定薬剤師、がん専門薬剤師）がいることを 知っていますか？			
<input type="radio"/> 5 よく知っている <input type="radio"/> 4 ある程度知っている <input type="radio"/> 3 どちらでもない <input type="radio"/> 2 あまり知らない <input type="radio"/> 1 全く知らない			
がん治療において、薬剤師にどのような役割を期待しますか？（複数回答可）			
<input type="checkbox"/> 抗がん薬の準備 <input type="checkbox"/> 投与量の相談 <input type="checkbox"/> 副作用の対応 <input type="checkbox"/> お薬やサブリの飲み合わせチェック <input type="checkbox"/> 家族への説明 <input type="checkbox"/> 治療選択の相談 <input type="checkbox"/> 費用の相談 <input type="checkbox"/> セルフケアの方法 <input type="checkbox"/> その他（ ）			
本日の参加理由 を教えてください。	<input type="text"/>		
市民向け講座で どのような話題 を取り扱ってほ しいですか？	<input type="text"/>		
薬剤師に期待や 改善してほしい ことを自由にお 書きください。	<input type="text"/>		
ご記入いただきありがとうございます。貴重なご意見を今後の参考にさせていただきます。 いただいたご情報は、個人が特定できない集計結果を公表させていただきます。			
日本臨床腫瘍薬学会 患者・市民参画ワーキンググループ			



【アンケート結果】

1. ご回答者の背景

ご回答者全体では、性別は女性・男性でおおむね半々でした。年齢層は40～60代が中心で、医療者と市民・学生の割合も概ね均等でした。

	全体		紙媒体 (n=66)		電子媒体(n=30)	
	人数	%	人数	%	人数	%
性別						
女性	56	58.3	37	56.1	19	63.3
男性	40	41.7	29	43.9	11	36.7
年齢						
20代	17	17.7	13	19.7	4	13.3
30代	13	13.5	8	12.1	5	16.7
40代	24	25.0	15	22.7	9	30.0
50代	25	26.0	14	21.2	11	36.7
60代以上	17	17.7	16	24.2	1	3.3
立場						
医療者	43	44.8	23	34.8	20	66.7
市民・学生	53	55.2	43	65.2	10	33.3

2. お立場によるご回答の違い

医療者のご回答は40～50代が中心でした。また、回答方法は市民・学生では紙媒体が多く、医療者は紙媒体と電子媒体のいずれも用いられていました。

	医療者 (n=43)		市民・学生 (n=53)	
	人数	%	人数	%
性別				
女性	22	51.2	34	64.2
男性	21	48.8	19	35.8
年齢				
20代	2	4.7	15	28.3
30代	7	16.3	6	11.3
40代	12	27.9	12	22.6
50代	17	39.5	8	15.1
60代以上	5	11.6	12	22.6
回答方法				
紙媒体	23	53.5	43	81.1
電子媒体	20	46.52	10	18.9



3. がんを専門とする薬剤師がいることを知っていますか？

このような市民公開講座にご参加いただけるかたですので、医療者以外の市民・学生のかたでもがん専門薬剤師の存在は7割くらいに知られておりました。

	全体		医療者 (n=43)		市民・学生(n=53)	
	n	%	n	%	n	%
よく知っている	65	68.4	38	88.4	27	51.9
ある程度知っている	13	13.7	4	9.3	9	17.3
どちらでもない	3	3.2	0	0.0	3	5.8
あまり知らない	6	6.3	1	2.3	5	9.6
全く知らない	8	8.4	0	0.0	8	15.4

4. がん治療において、薬剤師にどのような役割を期待しますか？（複数回答可、「はい」と答えた数と割合）

市民・学生のかたが希望する役割で多かったのは、副作用の対応、治療選択肢の相談、お薬やサプリの飲み合わせチェック、家族への説明などでした。

	全体(n=96)		医療者 (n=43)		市民・学生(n=53)	
	n	%	n	%	n	%
抗がん薬の準備	43	44.8	19	44.2	24	45.3
投与量の相談	43	44.8	17	39.5	26	49.1
副作用の対応	71	74.0	27	62.8	44	83.0
お薬やサプリの飲み合わせ チェック	51	53.1	22	51.2	29	54.7
家族への説明	48	50.0	20	46.5	28	52.8
治療選択肢の相談	59	61.5	23	53.5	36	67.9
費用の相談	43	44.8	18	41.9	25	47.2
セルフケアの方法	43	44.8	16	37.2	27	50.9



5. 本日の参加理由を教えてください。(市民・学生)

市民・学生の方の主な参加理由は、がん体験者や患者さんの話を聞きたい、ご自身や家族の治療の情報収集などの理由がみられました。

- ・ がんに興味があったから
- ・ がんの手術を受けたので、これからの治療方法の選択肢を知りたいと思ったため。
- ・ がんはとても身近な病気となっています。Dr.はもちろんですが薬剤師の役割はとても大きいと思います。薬については、相談しやすいのは薬剤師さんですね。私は一般人ですが、薬剤師さんに感謝と期待を込めて本日参加させていただきました。
- ・ がん患者さんがどのようなことを希望し、治療に向き合っているかを聞いてみたかったため
- ・ がん患者のパートナーと一緒に話を聞く為
- ・ がん経験者の方のお話（治療中、治療後等の）を聞きたかったため
- ・ がん体験者のいろいろな話が聞けるため。麻倉未稀さんのゲスト出演が楽しみでした。
- ・ ゲスト麻倉さん
- ・ 家族ががんで亡くなりました。がん体験者の方本人の思いを知りたいと思い参加しました。
- ・ 家族の肺がん闘病サポートに向かうため、チカラをいただきました。心強いお話を伺えて、たいへんありがとうございました！かかりつけの薬剤師さん、がん治療を伴走していただけるエキスパートのヒーローを私も探してお力添えいただこうと思います！よろしくお願いいたします！
- ・ 学術大会に参加していて、患者参画に興味があったため
- ・ 学術的興味
- ・ 患者さんが知りたいことを聞きたくて、自分はまだ病気ではないですが。ヒーローすきっとしました。力を頂きました。
- ・ 患者家族として薬剤師さんの活動を知りたかったので。
- ・ 興味があったため、都合がよかったため、気軽に参加できるため
- ・ 近かったのよってみました。ぜひ勉強させていただきます。
- ・ 研究室の教授のすすめ
- ・ 見学会の市民講座担当のため。
- ・ 現在、分子標的薬治療中で、副作用の悩みがあるので、薬剤師さんのお話を聞いてみたいと思いました
- ・ 後遺症の対処療法を聞けるチャンスがあればと思い参加しました。
- ・ 仕事関係で参加しました。お話聞けてよかったです。
- ・ 市民公開講座の内容に興味があった。
- ・ 治療選択の発展により、自分に合ったものは何か、迷い、悩むこれでいいのか
- ・ 親族に薬剤師がいて、この講座を知り参加した。
- ・ 親族に薬剤師がいるので興味があった。
- ・ 身近ながんについて学ぶため。
- ・ 膳場さんのファンです。
- ・ 体験者のお話を聞きたかったため。
- ・ 大学の研究室から

- ・ 田口先生の講演を聞きたいと思ったため。
- ・ 登壇される先生方、膳場様、麻倉様のお話を拝聴したく参加いたしました。
- ・ 発表者の一人が知り合いだったから
- ・ 麻倉未稀さんが登壇されるとの事で

6. 本日の参加理由を教えてください。(医療者)

医療者の主な参加理由は、がん体験者、患者の生の声を聞きたい、薬剤師の役割や実践を学ぶことなどの理由がありました。

- ・ JASPO2025 にて、がん患者さん・ご家族のことをよりよく理解するため。
- ・ JASPO2025 にて知った。
- ・ JASPO に参加した一環で
- ・ あまり自己研鑽が積めていないので
- ・ おもしろそうだったから
- ・ がん治療を経験されたがんサバイバーの方々の生のお声を聞かせていただき、今後の患者様との関わり方に活かしていければと思ったから。
- ・ がん体験者の話を聞きたかった
- ・ チーム医療、緩和ケア、NST などに関心があります。がん患者さんの就労支援・がん患者さんの栄養サポートなどに関心があります。
- ・ ヒーローがききたかった
- ・ 外来がん専門薬剤師である息子より教えてもらって。
- ・ 学会参加のため
- ・ 患者の生の声を聞き薬剤師としてできることを考えたかったので
- ・ 患者様のご意見や、胸の内がよくわかり勉強になりました。
- ・ 患者様の声を聞きたかったので参加させていただきました。ありがとうございました。
- ・ 興味があった
- ・ 市民の声が学会（薬剤師）に対して持っているイメージを知りたかった
- ・ 市民の薬剤師のイメージと薬剤師のがん患者さんへの関わりに興味があったため
- ・ 自分が知っている情報をアップデートするため
- ・ 膳場さん、麻倉さんを見たかった。
- ・ 膳場さんと麻倉未稀さん
- ・ 膳場さんに会いたかったのと麻倉さんの歌聴きたかった。
- ・ 知り合いにお誘いいただいたので
- ・ 地域の保険薬局として患者さんが家族の気持ちを聞く機会が案外少ないかも…。どのような講座に興味があった。どのような形であれば市民の人・患者さんに寄り添えるか学びたかった。
- ・ 発表のため
- ・ 勉強のため
- ・ 麻倉さんと膳場貴子さん
- ・ 薬剤師です。多くの立場の声に興味がありました。

- ・ 薬剤師ですががん患者さんに何ができるのか勉強させていただきたかったから
- ・ 薬剤師としての参加、市民の方々が普段持っておられる疑問や思いを知るきっかけにしたいと参加しました。
- ・ 薬剤師として広い知識が必要だと感じたから。
- ・ 薬剤師として市民等への啓発について考えるため
- ・ 薬剤師として勉強させていただくため

7. 市民向け講座でどのような話題を取り扱ってほしいですか（市民・学生）

市民・学生の方からは、情報提供や相談体制の充実、治療に対する情報などについてのご意見をいただきました。

- ・ がんとメンタルケア、もしくは、がん治療に使われる向精神薬（制吐剤含む）について
- ・ がんの治療方法がなくなった後の以下に苦しまず療養できるかなど
- ・ がん治療にさらなる向上を期待します。
- ・ がん治療に携わる薬剤師を目指しているため。
- ・ これから承認される薬のことなど、未来のこと
- ・ サバイバーの体験談
- ・ セルフメディケーションと病院や薬局の在り方
- ・ ドラッグロスについて
- ・ もっと患者市民参加型になるといいなと思います。
- ・ やはり、がんサバイバーの方のお話をうかがえるのは非常にありがたいです。
- ・ 医療者への自分の情報の伝え方
- ・ 介護を支援する行政のメニュー、費用の支援もよく知りたい
- ・ 患者さんへの個別化医療、最近のがん治験、治療に要する費用について
- ・ 抗がん効果のある食材について
- ・ 同じ薬のジェネリックの違いについて
- ・ 特になし
- ・ 病院、薬剤師以外の相談窓口、患者の中には情報弱者も多いと思うので
- ・ 薬剤師さんたちがどこでどのようなことを私たちにできるのか、実際はできてないことも含めて知りたいです。



8. 市民向け講座でどのような話題を取り扱ってほしいですか（医療者）

医療者からは、患者さんやがん体験者の声を聞ける話題を扱ってほしいというご意見をいただきました。

- ・ がん患者の体験談
- ・ もっと患者さんの声が聴いてみたいです。
- ・ もっと薬剤師のことを市民の方に知ってもらいたい
- ・ 患者さんの生の声

- ・ 患者さんの本音がきけてよかった
- ・ 患者会の声
- ・ 高額療養費制度や金銭的情報
- ・ 社会との接点は 薬の出来上がる程日 子供たちに興味あるかも
- ・ 新薬の開発状況
- ・ 生活習慣病の適度な運動とバランスの良い食事から根拠に基づくリハビリテーションと計算された食事が生活習慣病の人ががんや認知症になった時は必要と思います。医食同源から薬食同源という考え方を扱ってほしいです。
- ・ 増々増えていくであろう生活習慣病に関する病気など。
- ・ 薬剤師の多岐にわたる仕事について。薬の開発について。臨床研究への参加の意義について。

以上

